

CASBEE広島 2013年追補版Ver.2(BPI/BEI対応)

用途等で評価が不要となる項目については、自動的に網掛けが入ります
欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE広島 2013年追補版

■ベース評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei

サービス付き高齢者向け住宅

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								3.2
1 音環境				3.0	0.15	2.7	1.00	2.9
1.1 騒音				2.0	0.40	4.0	0.40	
1	室内騒音レベル			2.0	1.00	4.0	1.00	
2	設備騒音対策			-	-	-	-	
1.2 遮音				5.0	0.40	2.4	0.40	
1	開口部遮音性能	T-2の建具を使用するよう設計を行っている。		5.0	1.00	5.0	0.30	
2	界壁遮音性能			-	-	1.0	0.30	
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	1.0	0.20	
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	2.0	0.20	
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20	
2 温熱環境				2.8	0.35	3.3	1.00	3.0
2.1 室温制御				2.5	0.50	3.4	0.50	
1	室温			3.0	0.38	3.0	0.57	
2	負荷変動・追従制御性			-	-	-	-	
3	外皮性能	外壁内断熱20mm、屋根内断熱35mm		4.0	0.25	4.0	0.43	
4	ゾーン別制御性			1.0	0.38	-	-	
5	温度・湿度制御			-	-	-	-	
6	個別制御			-	-	-	-	
7	時間外空調に対する配慮			-	-	-	-	
8	監視システム			-	-	-	-	
2.2 湿度制御				2.0	0.20	2.0	0.20	
2.3 空調方式		個別分散方式(パッケージ形空調和機)		4.0	0.30	4.0	0.30	
3 光・視環境				3.1	0.25	3.3	1.00	3.2
3.1 昼光利用				3.6	0.30	4.2	0.30	
1	昼光率	共用部昼光率2%、居室昼光率4.5%		4.0	0.60	5.0	0.60	
2	方位別開口			-	-	-	-	
3	昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策				3.0	0.30	3.0	0.30	
1	照明器具のグレア			-	-	-	-	
2	昼光制御			3.0	1.00	3.0	1.00	
3	映り込み対策			-	-	-	-	
3.3 照度				3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境				3.7	0.25	4.0	1.00	3.8
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63	
1	化学汚染物質	仕上げ材料は、建築基準法規制対象外又はF☆☆☆☆を使用		5.0	1.00	5.0	1.00	
2	アスベスト対策			-	-	-	-	
3	ダニ・カビ等			-	-	-	-	
4	レジオネラ対策			-	-	-	-	
4.2 換気				2.0	0.30	2.3	0.38	
1	換気量			3.0	0.50	3.0	0.33	
2	自然換気性能			-	-	3.0	0.33	
3	取り入れ外気への配慮			1.0	0.50	1.0	0.33	
4	給気計画			-	-	-	-	
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-	
1	CO ₂ の監視			-	-	-	-	
2	喫煙の制御			3.0	1.00	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.1
1 機能性				3.1	0.40	4.2	1.00	3.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性			-	-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応			-	-	-	-	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40	
1	広さ感・景観			-	-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース			-	-	-	-	
3	内装計画			3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1	維持管理に配慮した設計	全ての照明器具はLEDを使用し、管球取替の頻度を低減させた。		4.0	0.50	-	-	
2	維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
3	衛生管理業務			-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.31	-	-	2.9
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-	
1	耐震性			3.0	0.80	-	-	
2	免震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				2.7	0.33	-	-	
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.23	-	-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.23	-	-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.09	-	-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.08	-	-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔			3.0	0.15	-	-	
6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.23	-	-	

2.4 信頼性			3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3	電気設備	非常用発電機を屋上に設置している。	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	居室、共用部に光回線インターネットを整備、ルーター等は地上階に整備	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.1	0.29	2.9	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり			3.4	0.31	2.8	0.50	
1	階高のゆとり		3.0	0.60	2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	1階、壁長さ比率0.19、2・3階壁長さ比率0.27	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース		3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物の熱負荷抑制			2.0	0.38	-	-	2.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.25	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化		パッケージ形空調機の採用による個別分散方式	3.9	0.38	-	-	3.9
		集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)	#VALUE!				
		集合住宅の評価	5.0				
4 効率的運用			-	-	-	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.5	0.63	-	-	2.5
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.22	-	-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.68	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		2.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.7
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			2.2	0.33	-	-	2.2
2.1 大気汚染防止			-	-	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.67	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.33	-	-	
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	